

第1期中期計画と第2期中期計画の関係整理

平成 23 年 2 月 25 日
 横浜市公立大学法人評価委員会
 資料 4

①第1期中期計画で課題となった主な取組		
	テーマ	中期計画
教育	国際総合科学部のコース再編	・都市の課題解決や社会のニーズへの対応を考慮したコースの再編成を実施し、大学院と一貫性ある教育を実施する。
	国際総合科学部の成績評価におけるGPA導入	・コースごとの個性を明確にし、それぞれのポリシーに沿ったカリキュラムのもと、GPA制度を導入し、適正な成績評価を行うなど、再編後のコースにおける学部教育の質の確保を行う。
	生命医科学分野の再編による研究科の設置	・生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編を実施する。再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。
・教育研究	研究院を再編した学術院の本格始動	・病院教員を含むすべての教員個人が所属する教員組織として学術院を設置し、学長のリーダーシップのもと、学部や研究科等の枠を超えた全学的な視点から、領域横断的な教育研究や新たな課題に対し、臨機応変に対応していく。
医療	各診療内容の役割分担等を念頭に置いた一体的な診療体制の確立	・附属2病院における各診療内容の役割分担を明確にし、特色を持った診療を行う。附属病院はがん医療や二次救急医療などを、センター病院は高度救命救急や周産期医療などを担うことを基本とする。これら附属2病院の役割分担と協調により、合わせて1,300床を超えるスケールメリットを活かした医療提供を行う。
法人	ガバナンス機能の強化	・公立大学法人として、法人の健全性と経営の効率性を確保するため、理事長・学長を中心とした経営管理体制を確立し、ガバナンスの強化を図っていく。
	教員・職員・学生間の意思疎通の改善	・経営審議会及び教育研究審議会における効果的・機動的な審議と学内コミュニケーションの改善により、部局間の連携やトップマネジメントが効率的に機能する組織に向けた改善を行う。
	コンプライアンス推進体制の強化による不正防止	・内部監査の徹底や不正防止に関する啓発活動を通じて、不正やハラスメントが発生しない大学運営を維持していくとともに、教職員が一丸となってコンプライアンス推進体制の強化を図る。
	教員のモチベーション向上に繋がる新たな仕組みの構築	・教員のモチベーションの向上に繋がる新たな制度の導入を検討・実施する。
	個人情報の保護	・個人情報の取り扱いに関する学内啓発を徹底し、個人情報の保護に努める。

①第1期中期計画で課題となった主な取組の教育・研究分野スケジュール

主なテーマ	～22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度～
国際総合科学部のコース再編	新コースの概要決定	主要科目・履修制度等細部を検討・確定・周知	新コース対象第一期生入学	→ コース配属			第一期生卒業に伴う4年間の総括・改善に向けた検討	
国際総合科学部の成績評価におけるGPA導入	GPAの運用方法決定	電算システム改修・志願者への周知	コース再編に合わせたGPAの本格運用開始				第一期生卒業に伴う効果・成果の検証、運用方法の見直し等	→
生命医科学分野の再編による研究科の設置	再編の概要決定	→ 研究科設置までの取組を整理・準備			→ 生命医科学研究科(仮称)設置準備・設置			
研究院を再編した大学院の本格始動	始動に向けたユニットの試行	→ 大学院の本格始動・新規ユニット設置	→ 必要に応じた課題解決ユニットの設置による検討・実施			→ 組織体制の整備・見直し・充実		→

②第1期中期計画で整備された主な枠組みの内容充実

	テーマ	中期計画
教育	教育の国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・Practical English においては、学生のさらなるモチベーションの向上を目指したプログラムの充実を図る。 ・専門教養科目における国際的な視野に立った内容の充実に向け、英語による授業の実施や海外の大学等の遠隔講義、国際機関からの講師招聘など、国際的な視野で学ぶことのできる環境を学生に提供していく。また、学生たちが習得した語学力をさらに高め、知識を深めることのできるプログラムの充実を図る。受け入れる留学生についてはその学力の質を確保した上で、着実な増加に努める。
	アカデミックコンソーシアムの充実等による海外の大学や研究機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化に向けた取組として、地域における多文化共生の推進に関する取組や、市内の国際機関との連携、アカデミックコンソーシアムの充実等により、特にアジアを中心とした海外の大学や研究機関との連携した教育研究、人材交流を進める。また、これらの取組を支える体制として、「グローバル都市協力研究センター」を設置する。
研究	戦略的な研究の推進と外部資金の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の推進による真理の探究とともに、その結果としてもたらされる知的財産の創出と還元により、国際社会、地域社会の発展に寄与するため、全教員が社会のニーズに沿った研究に積極的に取り組む。また、産業界や学外の教育研究機関と連携した研究をさらに推進し、外部資金の獲得にも引き続き努める。
	先端医科学研究センターの研究体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・生命医科学分野の世界的レベルの研究を基盤として、臨床研究や治験に力を入れた研究を推進し、その結果として、基礎医学で得られた優れた成果と臨床現場で実践できる医療技術を橋渡しし、重粒子線等の新たな放射線医療といった高度で先進的ながん医療をはじめとした、先端的医療の推進に寄与する。
医療	大学附属病院として求められる高度かつ先進的な医療分野などへの積極的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公立大学附属病院として担う高度で先進的な医療を提供し、先進医療の申請・承認への取組を積極的に進めるなど、地域医療の向上への役割を果たす。また、地域医療機関との協調・役割分担を進めるなかで、附属2病院が担う入院や外来の診療機能を十分に果たす。
	患者本位の医療や医療安全管理への取組や地域の医療連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に従事する全ての職員が医療に携わる者としての倫理観を有し、患者の安全を最優先に考え、その実現を目指す組織風土としての「医療安全文化」を醸成する取組を今後も進め、安全管理教育を充実させる。また、医療安全管理の取組に関する情報公開を行う。
法人	積極的な情報公開による透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・公立大学法人として法人情報の適切な管理に努めるとともに、市民に対する大学経営の透明性を図るため、大学の基本情報や経営情報、地域貢献・国際化に向けた活動、教育研究活動などの情報提供をホームページ等を通じて行う。

③第2期中期計画で新たに進めていく主な取組

	テーマ	中期計画
教育	医学部教育における医師不足への対応	・県内唯一の公立大学医学部として、産科・小児科など、医師不足と言われている診療科を中心に、市域・県域医療機関への医師・看護師定着を目指した教育を推進する。
	医学部定員増後の教育の質の確保	・医学科・看護学科の定員増による教育の質の低下が生じないよう、国家試験の高合格率を維持し、教育に必要な設備機器や環境の整備を進める。
医療	医療機器や設備の計画的導入・更新	・患者支援体制の充実や、医療機器、施設設備及び医療情報システム(電子カルテを含む)の計画的な導入・更新やそれらの十分な活用及び病院機能評価の継続取得などにより、病院機能の充実を図る。
	全医療スタッフのモチベーション維持・向上に向けた労働環境の整備	・医師・看護師等医療スタッフの事務作業軽減やモチベーション維持・向上に向けた労働環境の向上や改善を図ると同時に、女性医療スタッフの復職支援や働きやすい環境の整備に向けた取組を推進する。これらにより良質な医療を提供するための安定的な人材を確保する。
法人	教職員の労働環境整備	・教職員への子育て支援や外国籍教員への支援の充実など、働きやすい環境の整備を行う。 ・教職員のメンタルヘルスケアへの意識を向上させるとともに、相談体制の充実も図る。
	施設整備と環境改善	・IT環境の整備など、学生や教職員にとって利便性が高く、魅力的であり、かつ安全に活動できる施設の整備・充実を図るとともに、市民の財産である大学施設の地域開放を進める。
	横浜市と連携した八景キャンパスの耐震補強	・耐震補強など含めた八景キャンパスの再整備を横浜市と連携しながら実施する。
	大学間統合・連携に向けた可能性の検討	・ダブルディグリーや共同学部の設置等、他大学との連携の可能性について検討委員会等を設置し、検討を進める。